

～掌と心で感じる“絆”の深さ～

講談とリフレクソロジーとの異色競演！？

5月27日・木曜日、大阪梅田ハービスOSAKA 5階・5号会議室にて

戦国時代に誕生したと言う講談のその魅力を、今改めて見直そうと言う動きが出てきました。と言うのも講談は聴く芸であることから、物語を頭の中で想像しなければなりません。この一連の作業が脳にとって非常に良いことだと評価され始めたからです。その講談から、夫婦と親子の“絆”にまつわる演目二題を披露。さらに幕間では、ペアで行うハンド・リフレクソロジーの体験コーナーもあって、絆の尊さを心と掌とで感じ取っていただければと思います。

(日時・場所)

5月27日・木曜日 開場：18時45分 開演：19時15分～20時45分
大阪・梅田「ハービスOSAKA」 5階・5号会議室にて

(リッツカールトンホテルが入っているビルがハービスOSAKA)

(会費)

お一人様 1800円

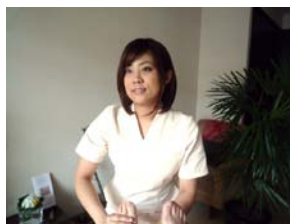
(出演)

◇関西の講談師界の若手のホープで女流講談師の旭堂小二三 (きょくどう・こふみ)



演目：「真柄のお秀」「あかぎれ膏薬」(作：大谷邦郎)

◇リフレクソロジスト・RINA (プライベートサロン「とろり」経営)



ペアで行うハンドリフレクソロジーを皆さんで体験していただきます。

◇司会・進行 講談作家・大谷邦郎

※会場の都合で40名までしか参加できません。定員になり次第、受付は終了させていただきます。その際にご容赦いただきますようお願い申し上げます。

(参考)

ハービスOSAKA：リッツカールトンホテルが入っているビル。
大阪駅や梅田駅から向かうと、まず四季劇場の入る「ハービスENT」に着く。
そのさらに西側のビルがハービスOSAKAである。その5階に会場となる貸し会議室のコーナーがある。ハービスENTとリッツカールトンホテルの間に位置するエレベーターを利用するのが、一番の分かりやすい。

旭堂小二三：2001年に3代目旭堂小南陵改め4代目旭堂南陵に入門。
上方女流講談師として、舞台はもちろん、様々なイベント・メディアで活躍中



リフレクソロジスト・RINA：大阪・梅田でプライベートサロン「とろり」
を経営、その傍ら「一人で出来るリフレクソロジー」など様々な講演も行う

<http://torori.net>



大谷邦郎：1984年某民間放送局入社。その後、大半をTV・ラジオの報道現場
で過ごす。その間「ギャラクシー賞」や「民間放送連盟賞」なども受賞。
仕事以外にも各種の講演を行い、また講談普及のため講談作家としても活動中

